



富士特だより

【めざす学校像】

児童生徒一人一人の自立を育てる

笑顔あふれる学校

富士見市立富士見特別支援学校

令和4年7月1日（金）第4号

*** 今月もあちこちであふれる子どもたちの素敵な表情 ***

思わずほっこり、心きらきら！

いよいよ梅雨も明けましたね。長雨に悩まされることもあまり感じなかった6月。各学部の活動を通して子どもたちの素敵な表情にたくさん出会うことができました。

小学部はまず、延期となった運動会が無事に開催でき、練習の成果を発揮し、みんなと一緒に一つの目標に向かって取り組みました。演技中の真剣なまなざし、嬉しい心を体いっぱい表現する姿、もうそれだけで胸がいっぱいです。

西の原公園での遠足でも心うきうき、朝から弾む気持ちでバスに乗り、たくさん遊び、みんなと外でお弁当を食べている表情…。みんなとってもかわいかったです。

また、授業参観ではちょっぴりいつもと違う緊張感。でもおうちの方が見に来ていると嬉しくて心ワクワクの表情も。普段とは違う姿が見られました。

中学部では、グループごとに作業学習に取り組んでいました。農園芸班、紙工班、手工芸班の3つのグループに分かれて活動しています。活動に向かっている時の表情は、真剣そのものです。農園芸班は、採りたての野菜を収穫し、にこにこ顔で売り出しにきてくれましたよ。

また、休み時間には、本を読んだり、タブレットで音楽やダンスの曲をかけ、体を動かしたり。それぞれが充実した表情です。小学生とは違う、お兄さん、お姉さんの姿です。

3年生は高等部棟で校内実習の体験をしました。手帳の解体を真剣に行う姿に頼もしさを感じました。とても凛々しい姿でした。

高等部では、2、3年生たちが、春の現場実習に挑みました。それぞれの実習先に数日間通い、決められた作業を行い、学校とは違った一日を過ごします。初めての出来事は誰でも緊張感いっぱいです。それぞれの思いと、大きな緊張とともに、いつもと違う空気の中で過ごす毎日。一日終わると疲れ果ててぐったりだったことでしょう。でもその期間を乗り越えることで、社会に向けて一歩、いえ大きく成長できたはずです。この期間、校内でも実習を頑張っていました。手帳の解体や分別、カレンダーや付録の解体です。決められた一日のスケジュールの中で、同じ作業を繰り返す…根気がないと続きません。本当に、皆、一生懸命に与えられた作業におかかっていました。「実習どうでしたか？」という質問に「疲れたけれど、楽しかった。」という返事が返ってきました。達成感の表情がとても立派でした。

6月の富士特も子どもたちの素敵な表情でいっぱいでした。これは、我が校の自慢です。本当は多くの方に子どもたちのこの表情を生でご覧いただきたいところですが、コロナもまだ終息というわけにはいきません。少しでもこの学校だよりを読んでくださった方にこの感動をお伝えてきたら…。そんな思いでいっぱいです。

6月の取り組み

運動会 (小)

3日(金)は小学部の運動会でした。雨天のため1週間延期され、当日も天気が心配されましたが、みんなの想いが通じ、すべてのプログラムを行うことができました。ウインディ体操や玉入れ、大玉リレーと、アスレチックリレー、最後にダンスを踊りました。みんなとても輝いていました!



高等部現場実習・校内実習

6月6日から2週間、高等部は実習期間でした。この期間外にも、実習先の都合で行っている人もいます。1年生は校内実習でいつもと違うカリキュラムで頑張りました。2・3年生は現場実習で外部の会社や事業所にお世話になりました。多くのことを学び、これからの進路につなげていきます。



小学部遠足

9日(木)に、小学部遠足に行きました。場所は、ふじみ野市西ノ原中央公園です。ジャンボすべり台ができていて、たくさん滑ることができました。他にもたくさんの遊具で遊んだり、おうちの方が用意してくれたお弁当をみんなでおいしくいただいたりすることができました。



小学部の水遊び

3年連続、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、水泳指導ができないことになってしまいました。しかし、「水に親しむ」、「水に慣れる」という目的で始めた小学部の「水遊び」は、子どもたちからも大好評。グラウンドが芝という利点を活かして、シャワーやミストなどを用いて、子どもたちからはたくさんの笑顔を見ることができました。



お知らせ

- ・7日(火)に学校運営支援者協議会が開催されました。9名の方が参加され、校内の様子を見学していただき、また、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。